

# DAICEL TODAY

株主の皆様へ

第151期 報告書

2016年4月1日～2017年3月31日



特集 | 新中期計画 **「3D-Ⅲ」**



平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
ダイセルグループの第151期(2016年度)の  
事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

2017年6月

代表取締役社長 **札場 操**

## ベストソリューション 実現企業になるため、 勇気をもって変革に挑戦します

### お客様のニーズに応えるとともに、 企業基盤の強化に取り組みました

2016年度の世界経済は、中国で景気の減速がみられた時期があったものの、全体としては緩やかな回復基調が続きました。日本経済も、一部に弱さがみられるものの緩やかな回復基調が続きましたが、為替環境の変化や海外情勢の不透明感の高まりなど予断を許さない状況のうちに推移しました。

このような環境の中、当社グループでは、中期計画「3D-II」の最終年度である2016年度、自動車エアバッグ用インフレータの計画外受注への対応、たばこフィルター用トウの能力増強など製品需要に対応した最適な生産体制の構築、各事業部門、グループ各社の拡販努力、さらには継続的なコストダウンを行うなど、引き続き、業績の向上と企業基盤の強化に懸命に取り組んでまいりました。

その結果、2016年度の業績は売上高4,401億円、営業利益643億円、経常利益662億円、親会社株主に帰属する当期純利益(最終利益)432億円と、前年度と比較して減収、営業減益でしたが、経常利益、最終利益は増益となり、ともに過去最高を記録することができました。

配当につきましては、1株当たり前年度比で4円増配し、年間30円(期末17円)とさせていただきます。昨年5月に実施した約40億円の自己株式取得と合わせて、株主還元

性向は33.3%となりました。

中期計画「3D-II」の業績目標、売上高5,000億円、営業利益500億円に対しては、売上高は未達成であるものの、営業利益においては2014年度、2015年度に続き目標を達成することができました。しかしながら、中期計画で掲げていた全ての施策を実行できているわけではありません。私たち自身の取り組みによる成果もある一方、外部環境の追い風も受けた業績であると考えています。

### ■ 2016年度 通期業績

(単位：億円)

	2015年度	2016年度	増減	増減率
売上高	4,499	<b>4,401</b>	<b>△98</b>	<b>△2.2%</b>
営業利益	643	<b>643</b>	<b>△0</b>	<b>△0.1%</b>
経常利益	654	<b>662</b>	<b>+8</b>	<b>+1.2%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	403	<b>432</b>	<b>+29</b>	<b>+7.2%</b>

### ■ 株主還元状況

中間配当	1株につき <b>13</b> 円(前年度と同額)
期末配当	1株につき <b>17</b> 円(前年度から4円増)
年間配当	1株につき <b>30</b> 円(前年度から4円増)

## 新中期計画「3D-III」を推進し、 持続的な成長を目指します

今後の世界経済は、先進国の雇用環境の改善を背景とした個人消費の底堅さにより、緩やかな回復が続くものと見込まれます。一方、経済格差や移民問題に端を発した反グローバリズムの動きや地政学リスクが経済見通しに大きな影響を与える可能性もあるなど、不確実性ははらんだ環境が

続くものと予想されます。

このような情勢下、当社グループは、長期ビジョン『Grand Vision 2020』で掲げる、世界に誇れる『ベストソリューション』実現企業となることを目指し、新中期計画「3D-III」を策定いたしました。

メーカーとしての基本である安定操業、安全・品質の確保を変わらぬ最重要課題としつつ、急速な環境変化を新たな成長の機会ととらえ、変化に対応したベストソリューションの提供によって持続的成長を実現させます。持続的成長を実現するために、「Change(変革)」「Challenge(挑戦)」「Courage(勇気)」の「3Cスピリッツ」を意識し、従来のやり方を抜本的に変え、これまででない領域にも勇気をもって挑戦し、現状を打破していきます。

「3D-III」では、これまでの中期計画「3D-I」「3D-II」の取り組みから大胆に変革し、ビジネスユニット単位の選択と集中に取り組みむとともに、M&Aも含めた積極的な投資などにより、既存事業の成長分野や新規事業ユニット候補を育成し、次の成長の柱となる事業構築を加速します。

また、姫路市でリニューアルした「イノベーション・パーク」を中心に、お客様や大学等、社外の知識や技術を広く取り入れるオープンイノベーションの実現や、企画・マーケティング、研究開発、生産技術・エンジニアリングの各機能を融合した三位一体運営によるコンカレントエンジニアリングの推進により、新事業の創出と育成にも継続的に取り組んでまいります。

こうした、仕組みや環境を変えることでワークスタイルも変革し、一つ一つの業務遂行のスピードを上げ、更なるソリューションの提供とグループの成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも、より一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## [ 2016年度(第151期)実績 ]

自動車エアバッグ用インフレーターやエンジニアリングプラスチックなどの販売数量が増加したものの、為替が前年度より円高で推移したことなどにより、減収となりました。営業利益はほぼ横ばいで推移し、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益については、過去最高を更新いたしました。

売上高

**4,401** 億円  
(前年度比2.2%減)

営業利益

**643** 億円  
(前年度比0.1%減)

経常利益

**662** 億円  
(前年度比1.2%増)

親会社株主に  
帰属する当期純利益

**432** 億円  
(前年度比7.2%増)

## [ 2017年度(第152期)予想 ]

たばこフィルター用トウや自動車エアバッグ用インフレーターなどの販売数量の増加を見込むものの、原燃料価格の上昇や減価償却費の増加などの影響を受け、増収減益の見通しです。

売上高

**4,600** 億円  
(前年度比4.5%増)

営業利益

**610** 億円  
(前年度比5.1%減)

経常利益

**620** 億円  
(前年度比6.4%減)

親会社株主に  
帰属する当期純利益

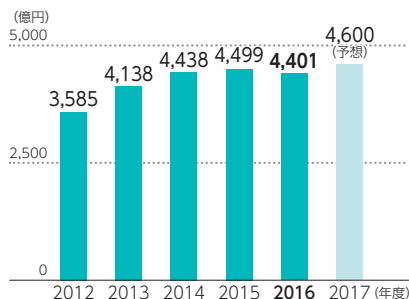
**370** 億円  
(前年度比14.3%減)

## 決算ハイライト

### 売上高

**4,401** 億円

前期比  
2.2%減



### 営業利益

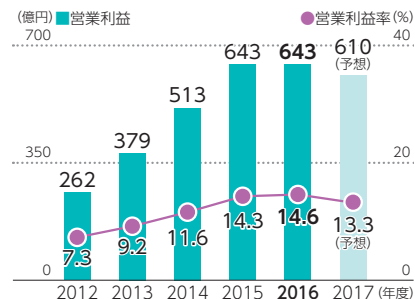
**643** 億円

前期比  
0.1%減

### 売上高営業利益率

**14.6%**

前期比  
0.3ポイント増



### 経常利益

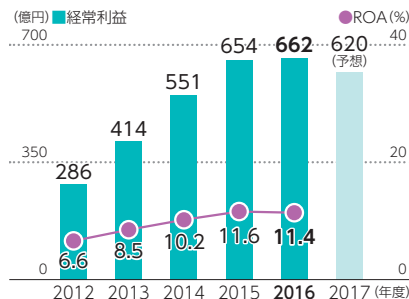
**662** 億円

前期比  
1.2%増

### ROA

**11.4%**

前期比  
0.2ポイント減



### 親会社株主に 帰属する当期純利益

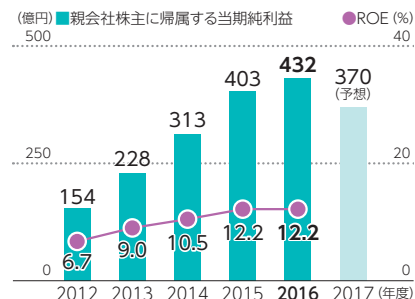
**432** 億円

前期比  
7.2%増

### ROE

**12.2%**

前期と  
同ポイント

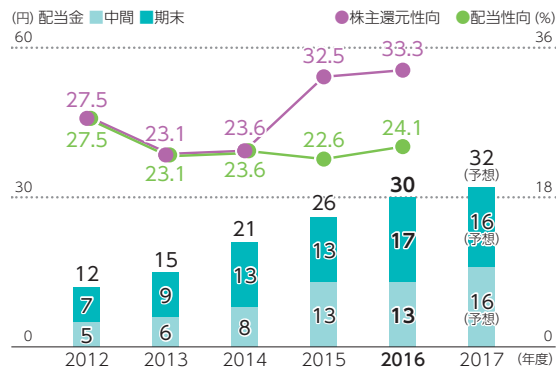


## 株主還元について

当社では、各事業年度の連結業績を反映した配当と、より強固な収益基盤を確立して中長期的な株主価値向上に資するための内部留保の充実とを総合的に勘案した、バランスのとれた利益配分を基本方針としております。中期計画「3D-II」では株主還元性向30%を目標としておりました。

上記の方針に基づき期末配当を1株につき4円増配し、17円とさせていただきます。年間の配当金額は、2016年12月に実施した1株当たり13円の間配当と合わせ、1株当たり30円となりました。なお、2016年5月に約40億円の自己株式の取得を実施しました。

次期の配当につきましては、現時点では、1株当たり年間32円(うち中間配当16円)を予定しております。



売上高  
構成比



営業利益  
構成比



## セルロース事業部門

主要製品

- 酢酸セルロース
- たばこフィルター用アセテート・トウ
- 水溶性高分子



### 事業概況

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途はほぼ横這いとなったものの、その他用途が減少したことや、為替の影響などにより、売上高は減少しました。たばこフィルター用トウは、世界的に需給が緩んでいる中、主要顧客との関係強化や新規顧客開拓、大竹工場での増産が寄与し、販売数量は増加したものの、為替の影響などにより、売上高は減少しました。

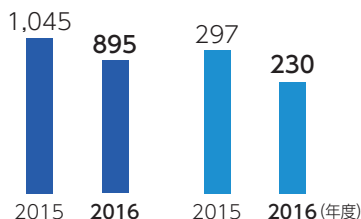
売上高

895億円

前期比14.4%減



■売上高(億円) ■営業利益(億円)



営業利益

230億円

前期比22.5%減



## 有機合成事業部門

主要製品

- 酢酸および有機合成品
- 有機機能品
- 光学異性体分離カラム



### 事業概況

酢酸や合成品は、販売数量が増加したものの、為替の影響、原油価格低下の販売価格への影響などにより、売上高は減少しました。機能品は、為替の影響を受けたものの、電子材料分野やコスメ・ヘルスケア分野などで一部製品の需要が堅調に推移し、売上高は微増となりました。キラル分離事業は、インド向けなどのカラム販売が好調に推移したものの、為替の影響などにより、売上高は減少しました。

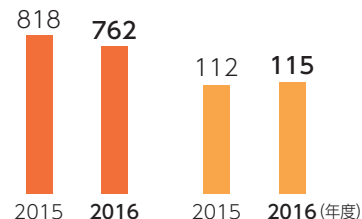
売上高

762億円

前期比6.8%減



■売上高(億円) ■営業利益(億円)



営業利益

115億円

前期比3.2%増



■セルロース事業部門 ■有機合成事業部門 ■合成樹脂事業部門 ■火工品事業部門 ■その他部門

※営業利益構成比は、調整額を除いて算出しております。

35.7%

25.3%

1.4%

27.6%

27.2%

1.0%

## 合成樹脂事業部門

### 主要製品

- エンジニアリングプラスチック
- 樹脂コンパウンド製品
- 合成樹脂成形加工品



## 火工品事業部門

### 主要製品

- 自動車エアバッグ用インフレーター
- 防衛関連製品



### 事業概況

エンジニアリングプラスチック事業は、中国や東南アジアでの自動車生産が好調に推移したことなどにより、販売数量は増加したものの、為替の影響や原燃料価格低下の販売価格への影響などにより、売上高は減少しました。樹脂コンパウンド事業は、販売数量が増加したものの、為替の影響や原油価格低下の販売価格への影響などにより、売上高は減少しました。樹脂加工事業は、シートなどの販売が減少し、売上高は減少しました。

### 事業概況

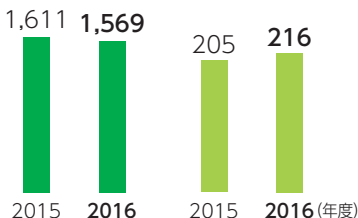
自動車安全部品事業は、為替の影響があったものの、自動車エアバッグ用インフレータの販売数量増加などにより、売上高は増加しました。防衛関連製品の売上高は減少しました。

### 売上高

1,569億円  
前期比2.6%減



■売上高(億円) ■営業利益(億円)



### 営業利益

216億円  
前期比5.1%増

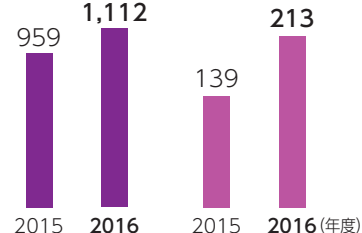


### 売上高

1,112億円  
前期比15.9%増



■売上高(億円) ■営業利益(億円)



### 営業利益

213億円  
前期比53.3%増



その他部門 売上高 62億円(前期比5.5%減)

営業利益 7億円(前期比309.4%増)



# 新中期計画「3D-Ⅲ」

当社グループは、本年5月、長期ビジョン達成に向けた『3D Step-up Plan』の最終ステップとなる新中期計画『3D-Ⅲ』（計画期間：2017～2019年度）を策定しました。

新中期計画『3D-Ⅲ』では、急速な環境変化を新たな成長の機会ととらえ、自らの働き方を変革することで取り組みのスピードを上げていきます。そして、日々進化する技術、一層のグローバル化、安全・安心・健康の追求など、多様化する世の中のニーズに対して継続的にソリューションを提供し続け、当社グループの持続的成長を実現していきます。

## 3D-Ⅲの目標

変化に対応したベストソリューションの提供によって持続的成長を実現する。

2019年度 連結業績	セグメント別連結業績計画 (億円)		
	2019年度計画		
	売上高	営業利益	
売上高 <b>5,000</b> 億円	セルロース事業	950	250
	有機合成事業	1,080	160
	合成樹脂事業	1,860	260
	火工品事業	1,000	170
	その他	110	20
営業利益 <b>700</b> 億円	全社	—	△160
	合計	<b>5,000</b>	<b>700</b>

## 新中期計画「3D-Ⅲ」の位置付け





## 基本方針

### 基盤とする考え方

- **意識をカエル** ～ 3Cスピリッツ[Change Challenge Courage] (変革・挑戦・勇気)
- **行動・環境をカエル**

### 基本戦略

「基盤とする考え方」に基づき、次の二つを基本戦略とします。

- **経営資源の、成長ビジネスユニット\*への傾斜配分**
- **オープンイノベーションによる、成長ビジネスユニットの創出・育成の加速**

\*ビジネスユニット:セグメントよりも細分化した事業の単位

### 主要施策

基本戦略を具体的に展開するために、以下三つの主要施策に取り組みます。

#### 主要施策① **ビジネスユニットマネジメントによる選択と集中の推進**

持続的成長の布石となるビジネスユニットによるマネジメントを推進し、経営資源を成長ビジネスユニットに傾斜配分することで成長を促進します。

#### 主要施策② **技術・商材等を外部から積極的に取り込むための戦略的投資**

積極的に設備投資や研究開発投資を行うとともに、M&A等により、持続的成長の原動力となるビジネスユニットの創出・育成を加速します。

#### 主要施策③ **成長を促進するための環境整備**

主要施策を進めるための体制を作っていきます。

これらの施策を実行することで、次の10年、ひいては100年に向けた持続的成長につなげていきます。

## 株主還元

### 基本方針

- **連結業績を反映した配当**
- **より強固な収益基盤を確立するための内部留保**
- **ROE10%以上を意識した財務戦略**

配当  
性向

目標 **30%**以上

これらを総合的に勘案し、バランスのとれた利益配分を行うことを基本方針とし、『3D-Ⅲ』では、配当性向30%以上を目標とします。また、自己株式の取得についても、配当を補完する株主還元策として機動的に実施していきます。

# グローバル改善大会・ 改善事例発表会を開催



改善事例発表会

当社グループでは、安全と品質の確保を最重要課題と位置付け、様々な改善に取り組みながらモノづくりを行っています。

今年4月、改善の取り組みの一環として、兵庫県の播磨工場で、自動車安全部品事業などを行う特機・MSDカンパニー（火工品事業部門）による第5回グローバル改善大会を開催しました。

グローバル改善大会には、同事業を展開する6ヶ国から19チームが参加。発表を通じて優れた改善事例を共有することで、これまで培ってきた火工品事業の改善文化をより強固にし、事業の成長につなげていくための機



グローバル改善大会

会としています。

また、同じ播磨工場で、国内の当社グループ各事業場が参加する、第7回改善事例発表会も開催しました。こちらの発表会は、グループ各社の改善マインドを醸成することを目的に「気づき、考え、行動する」をコンセプトとして、毎年、国内各事業場の持ち回りで開催しています。今回は従来の国内8事業場だけでなく、グローバル改善大会で選出された海外拠点も参加して行われました。

これらの改善事例の発表では、自職場における過去の取り組みの中から全社で共有化できるテーマを選定し、発表会を通じて共有することで、各職場に内在している課題を顕在化させ、更なる改善につなげることを目指しています。

また、発表テーマの選定から発表準備までの一連のワークを通じて、各部門で日々の改善を振り返りながら議論を積み重ね、職場の「一体感」を生み出す機会としても活用しています。

今後もこのような発表の機会を継続し、皆で知恵を出し合い、更なる改善の契機とし、ベストソリューション実現企業を目指していきます。

## 環境と安全に配慮した製品と技術

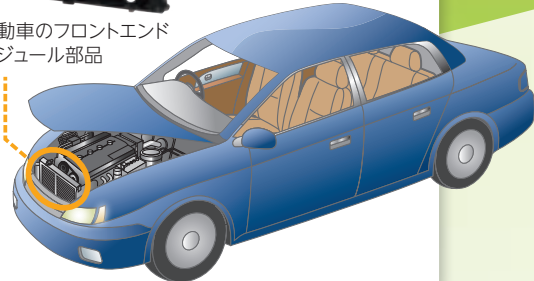
### ダイセルポリマー、長繊維強化樹脂のスーパーエンブラグレードを開発

当社グループのダイセルポリマー株式会社は、長繊維強化樹脂「プラストロン®」のスーパーエンブラグレードを開発しました。ペレット中に連続した強化繊維（ガラス繊維やカーボン繊維）を同じ長さ・方向に複合することで、従来の繊維強化樹脂では得られなかった剛性と高い衝撃強度を併せ持ち、さらに高い耐熱性や耐薬品性の発現を可能としました。

燃費向上がますます重要となる自動車分野（高温となるエンジンルーム内の金属樹脂化による軽量化など）や高速で回転する工業用ファン筐体、工具類などの用途でその機能が期待されます。



自動車のフロントエンド  
モジュール部品



## 社会とのコミュニケーション

### 「化学の日 子ども化学実験ショー 2016」に出展

当社は2016年10月に京セラドーム大阪で行われた「化学の日 子ども化学実験ショー 2016」に出展しました。このイベントは、10月23日の「化学の日」にちなみ、学会や業界団体が協力し、化学の魅力をより多くの人に知ってもらうことを目的に開催しています。数千人の家族連れが訪れる大規模な化学の祭典で、近畿地区の学校や化学企業、関連団体が出展し、子どもたちに楽しい実験プログラムを体験してもらいました。

当社は、海藻から取れるアルギン酸ナトリウムとカルシウムを反応させてできる「カラフルビーズづくり」を出展しました。開催2日間ともにブースには長蛇の列ができ、参加した子どもたちは目を輝かせながら色とりどりのビーズづくりを楽しんでいました。

今後も化学のおもしろさ、魅力を知っていただくとともに、将来を担う子どもたちを育成する活動にも取り組んでまいります。



CSR活動の詳細につきましては、  
当社CSR情報サイトをご参照願います。

<https://www.daicel.com/csr/>

ダイセル CSR

検索

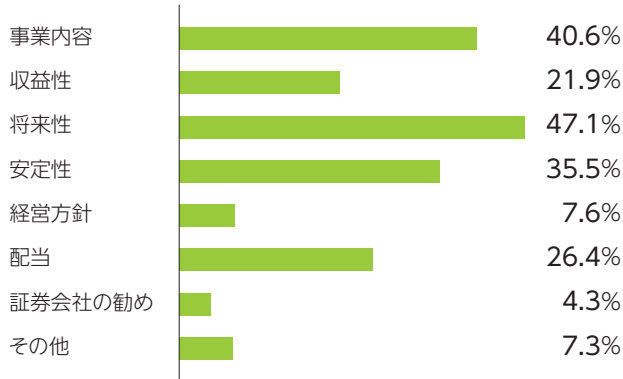


## アンケート結果のご報告

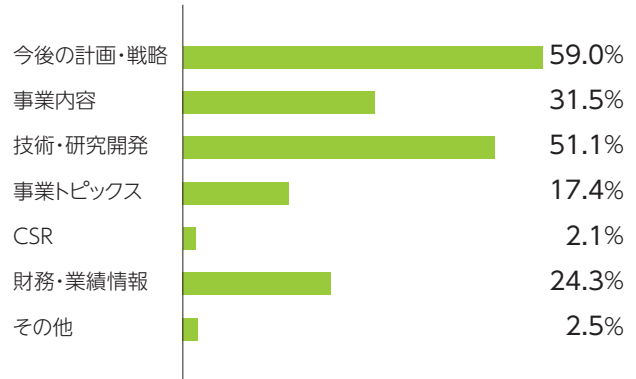
第151期中間「DAICEL TODAY」で実施いたしましたアンケートに関して、多くの株主の皆様からご回答をいただき、誠にありがとうございました。  
また、貴重なご意見とご指摘もいただき心より御礼申し上げます。  
アンケート集計内容を報告させていただきます。



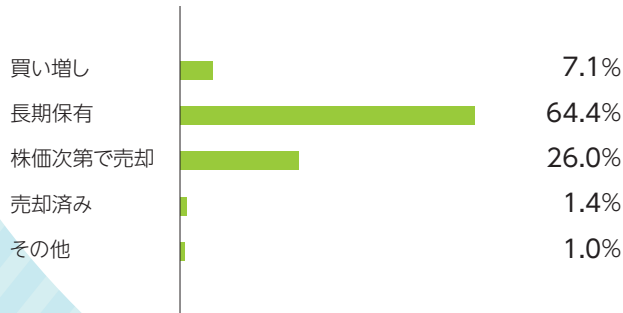
### 当社株式の保有理由についてお聞かせください。



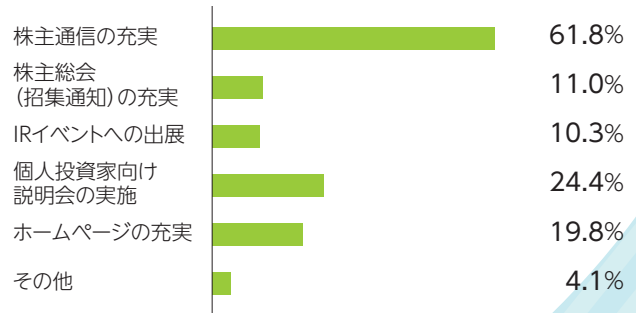
### 今後当社のどのような情報をお知りになりたいですか。



### 当社株式の保有方針についてお聞かせください。



### 今後当社のIR活動として期待することは何ですか。



より詳細なデータにつきましては、当社IR情報サイトをご参照願います。

<https://www.daicel.com/ir/irlibrary.html> ダイセル IR 検索

		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
売上高	(億円)	3,585	4,138	4,438	4,499	4,401
営業利益	(億円)	262	379	513	643	643
売上高営業利益率	(%)	7.3	9.2	11.6	14.3	14.6
経常利益	(億円)	286	414	551	654	662
親会社株主に帰属する 当期純利益	(億円)	154	228	313	403	432
総資産利益率(ROA)	(%)	6.6	8.5	10.2	11.6	11.4
自己資本利益率(ROE)	(%)	6.7	9.0	10.5	12.2	12.2
自己資本比率	(%)	52.2	52.7	57.3	60.2	61.6
総資産	(億円)	4,615	5,098	5,653	5,602	5,997
純資産	(億円)	2,629	2,958	3,562	3,687	3,994
1株当たり当期純利益	(円)	43.71	64.98	88.95	115.02	124.61
1株当たり純資産額	(円)	685.11	764.51	922.71	966.36	1,067.63
1株当たり配当金	(円)	12	15	21	26	30
株主還元性向	(%)	27.5	23.1	23.6	32.5	33.3

## 用語解説

### ▶ 自己資本利益率(ROE:Return On Equity)

自己資本(株主資本)に対する親会社株主に帰属する当期純利益の割合。株主の投下した資本に対し、企業がどれだけ利益を上げられるのかを判断するのに用いられる指標で、企業の財務分析をするうえで重要視される財務指標の一つ。

ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本、またはROE=EPS(1株当たり当期純利益)÷BPS(1株当たり純資産額)

### ▶ 株主還元性向

配当金と自己株式取得の金額の合計額が親会社株主に帰属する当期純利益に占める割合を示す。親会社株主に帰属する当期純利益のうち株主に配分した金額の割合を示す財務指標。総配分性向、株主総還元率ともいう。

株主還元性向=(配当総額+自己株式取得総額)÷親会社株主に帰属する当期純利益

## 会社概要 (2017年3月31日現在)

商号 株式会社ダイセル  
 英文商号 Daicel Corporation  
 大阪本社 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1  
 (グランフロント大阪 タワーB)  
 Tel. 06-7639-7171  
 東京本社 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1  
 (JR品川イーストビル)  
 Tel. 03-6711-8111  
 設立 1919年9月8日  
 資本金 362億7,544万89円  
 従業員数 連結:11,556名 単独:2,248名  
 役員

### 取締役

代表取締役社長 札幌 操\*  
 代表取締役 福田 眞澄\*  
 取締役 小河 義美\*  
 取締役 西村 久雄\*  
 取締役 後藤 昇  
 社外取締役 岡田 明重  
 社外取締役 近藤 忠夫  
 社外取締役 下崎千代子  
 \*執行役員兼務者

### 監査役

常勤監査役 榎田 宏安  
 常勤監査役 井口 友二  
 社外監査役 岡本 園衛  
 社外監査役 高野 利雄  
 社外監査役 市田 龍

### 執行役員

社長執行役員 札幌 操  
 専務執行役員 福田 眞澄  
 専務執行役員 宗 正幸  
 常務執行役員 小河 義美  
 常務執行役員 西村 久雄  
 常務執行役員 安藤 隆彦  
 常務執行役員 Dieter Heckmann  
 執行役員 白子 直秀  
 執行役員 児島 秀景  
 執行役員 野中 哲昌  
 執行役員 阪本 聡  
 執行役員 今中 久典  
 執行役員 杉本幸太郎  
 執行役員 榊 康裕  
 執行役員 吉野 幸男  
 執行役員 上野 貴史  
 執行役員 辻 康雄  
 執行役員 高部 昭久  
 執行役員 八木 幹夫  
 執行役員 川口 尚孝  
 執行役員 藤田 眞司  
 執行役員 丸山 浩一  
 執行役員 林 仁志

## 株式情報 (2017年3月31日現在)

### 株式の状況

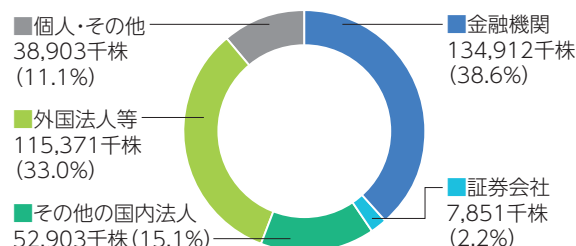
発行可能株式総数 1,450,000,000株  
 発行済株式の総数 349,942,682株  
 株主数 17,365名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,987	7.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	21,031	6.07
日本生命保険相互会社	17,402	5.02
富士フィルムホールディングス株式会社	17,271	4.98
トヨタ自動車株式会社	15,000	4.33
株式会社三井住友銀行	7,096	2.04
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9)	6,886	1.98
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,503	1.87
全国共済農業協同組合連合会	5,459	1.57
ダイセル持株会	5,422	1.56

(注) 出資比率は、自己株式を控除して算出し、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。

### 所有者別株式分布状況



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日より翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。なお、電子公告は当社のホームページに掲載して行います。

### お知らせ

#### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

#### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。お届出がお済みでない株主様は、お取引の証券会社等の口座管理機関へお届出ください。

### 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

### マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- ▶証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- ▶証券会社とのお取引がない株主様  
下記までお問い合わせください。  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

## ホームページのご紹介

当社ホームページでは事業内容やサービスのご説明、最新ニュース、IR関連など当社をご理解いただくための様々な情報を提供いたしております。



<https://www.daicel.com/>

ダイセル

検索



株主様向け施設見学会開催のお知らせ

# ダイセルの新しい技術拠点を この機会にぜひご覧ください。

株主の皆様当社グループの企業理念や事業内容に関するご理解をより深めていただくために、株主様向けの施設見学会を開催いたします。多くの皆様のご応募をお待ちしております。

**実施日時** 2017年9月8日(金)12時～17時(予定)

**対象者** 2017年3月31日現在、  
当社株式100株(単元株)以上をご所有の株主様

**集合・解散** JR姫路駅

**参加費** 無料  
(ただし、往復の交通費は各自のご負担とさせていただきます)



見学場所 ▶ iCube

## 応募要領

**締切日** 2017年7月14日(金)必着

**応募方法** 同封の応募はがきに必要な事項を漏れなくご記入の上、切手(62円)を貼って、ご投函ください。  
※同封の情報保護シールをお貼りください。

**募集人数** 30名(同伴者不可)

- その他**
- 厳正な抽選の上、結果はご応募いただいた株主様全員に、郵送(8月中旬発送予定)にてお知らせします。その際、当選された株主様には、当日のスケジュール等詳細を併せてご連絡いたします。
  - 応募はがきに記載漏れ、誤記などの不備がございます場合、無効とさせていただきます。
  - ご応募により当社が取得する個人情報、本施設見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。
  - ご見学時は徒歩移動、バスの乗り降りおよび階段の昇り降りがございますので、あらかじめご了承ください。
  - 当社が撮影する施設見学会の写真・動画は、当社のウェブサイト、社内報やアニュアルレポートなどの印刷物、株主総会での映像などに掲載・使用させていただきます場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本件に関するお問い合わせ先

**株式会社ダイセル 総務部 電話：06-7639-7171**

**DAICEL**  
The Best Solution for You



FSC®認証紙と環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。



**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。